



しおかぜ



2025年7月16日の餃子パーティー

宮城県大会開催について

宮城県大会は、「田尻総合体育館」を会場に、9月7日(日)10時開会となります。塩竈道院・仙台杜都道院は、例年の通り「記録(集計)」が担当となりますので宜しくお願い致します。

仙台杜都道院でギョーザパーティー

7月16日(水)古城コミュニティーセンターを会場に、新入門者の歓迎会を兼ね「餃子

パーティー」を開催しました。

「餃子」、「肉まん」共、中に入れる「あん」は勿論、包む皮も小麦粉を打ち、参加者全員で包みました。完成したものは、全部形が違い不揃いではありましたが、美味しい！参加者全員が感激でした。これに、道院長特性の「あんかけ焼きそば」も加わり、楽しい一時を過ごしました。

今年中に、再度開催したいと参加者全員が、そう思ったに違いありません。乞うご期待下さい。

大澤隆管長 縁起

平和への願いと祈りと互いを思いやる心
今年もまた、終戦記念日を迎える月となりました。私たち日本人は、この80年間、戦争のない時代を歩んできました。それは、かつての戦前・戦中を生き抜いた方々が、命をかけて礎を築き、戦後の復興に身を捧げ、「日本を良くしたい」「二度と悲惨な思いを繰り返したくない」という強い思いを持ち続けたからにはかなりません。

少林寺拳法は、そのような歴史の中から二度と戦争を起こしてはならないという開祖の強い想いから、人づくりによる国づくりを目的として生まれました。そして平和で豊かな社会づくりを実現するために、開祖の意志を引き継ぎ、一緒に邁進する

2024年10月 宮城県大会での集計作業



道院長を一人でも多く増やしていこうと金剛禅教団の理念でうたっています。

近年、全国各地で頻発する地震を始めとする天災等の局面において、門信徒の皆さんが地域のために力を尽くす姿が各地で見られます。それは、少林寺拳法の修行が単なる拳法の修得にとどまらず、「半ばは自分の幸せを、半ばは他人の幸せを」という自

今後の予定

- ◎ 8月 9日(日) 全国少年錬成大会(日本武道館)
- ◎ 8月12日(火)～17日(日) お盆 修錬休み
- ◎ 9月 7日(日) 10:00から 宮城県大会(田尻総合体育館)
- ◎ 9月20日(土) 東北連合会研修会(ホテル白萩)



2025年7月16日 参加者全員で餃子包み

他共楽の精神が、日々の修練の中で着実に養われていることの証です。

現代社会には、欲望や利己心が前面に出てしまう場面もあります。しかし、だからこそ私たちは、自らの欲望を律し、靈性を高め、人間本来の使命を自覚して徳を育み、よりよい人間関係と調和の取れた社会を築

いていかなければなりません。

私たち人類は、困難があるたびに何度でも立ち上がり、希望を持って未来を切り拓いてきました。日々の修行はその力の源泉となります。次の一年も平和であり続けるよう、一人ひとりがその自覚と責任をもち、自らの手で未来をつくっていきましょう。

今月も猛暑が続くことが予想されます。どうか修練によって免疫力を高め、体調を整えながら、元気に日々を過ごしてまいります。

中国古典 紹介

小人は水に溺れ、君子は口に溺れ、大人

は民に溺れる

『礼記』

小人は水、君子は口、大人は民と、それぞれのレベルに応じて溺れる対象がちがっている。「溺る」というのは、失敗を招くということだ。しかし、溺れる対象はそれぞれにちがっていても、その原因は共通であって、「皆そのなるる所に在り」だという。つまり、慣れからくる油断である。

「小人は水に溺る」これはよくわかる。「君子は口に溺る」これも理解できないではない。とくにアルコールでも入ると、誰でも多弁になりやすい。では、「大人は民に溺る」

とはどういうことか。『礼記』の説明によると、「民」というのは道理など解さぬ無知な連中なので、バカにしかかると、かえって大ヤケドをするのだという。

それはともかく、『礼記』はこう語ったあとで、「故に君子は慎まざるべからず」とッダメ押ししている。まったく同じことが、われわれの日常の仕事についても言えるように思う。



2025年7月16日 参加者全員で片付け